

(5) 早期受診・診断、早期治療が大切なわけ

認知症と同じ症状であっても、別の病気が原因であったり、症状が一時的なものもあります。また、認知症の発症や進行を遅らせることが可能な場合があります、今後の生活に向けて準備することができます。

早期受診のメリット

症状から、認知症と「間違われやすい」病気もあります

正常圧水頭症、脳腫瘍、慢性硬膜下血腫、甲状腺ホルモン異常などによって一時的に現れる認知症のような症状は治療でかなり良くなる場合があります。また、今服用している薬の副作用や、複数の薬の飲み合わせで症状が出ていることもあります。

発症や進行を遅らせることが可能な場合があります

認知症の前段階である軽度認知障害（MCI）のうちに対応や治療をすることで、その後の症状が緩やかになったり、維持することが期待できます。

* 8 ページへ

今後の生活に備えることができます

認知症の症状が軽いうちに、今後の生活について本人の意思や希望について確認することができ、本人や家族が、さまざまな制度やサービスの情報を得ることで、今後の生活の備えや見通しを立てることができます。

早期治療が大切

早くから認知症に気づき、医療機関を受診して薬による治療（薬物療法）を受けることにより、進行を緩やかにできる場合があります。

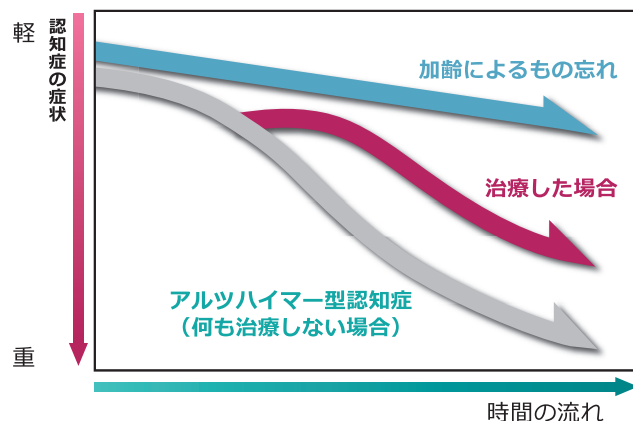
また、地域の社会資源（デイサービスや健康教室等）を利用し、人とのコミュニケーションやゲームなどを楽しむことで、家庭生活にはない刺激を与え、脳や心の活性化を図る方法（非薬物療法）もあります。

いずれにしても、早期から適切な治療を受けて認知症の進行を遅らせることにより、家族と一緒に過ごす時間を長くすることや、介護者の負担を軽減することが期待できます。

時間の流れと認知症の症状

出典：相談 e-65

(<https://soudan-e65.com>)



認知症かもしれないと気になったら

◆ チェックリストは9ページにあります ◆

